

ふくしま新生子ども夢プラン見直しに係る地域での懇談の主な意見

意見カテゴリー順

No.	大項目	小項目	発言内容	地域	発言者
1	(1)結婚	①結婚支援	・結婚支援については、近隣市町村と連携した一体的な活動が必要。少子化対策が進まないと子育て支援が発生しない。1市町村の範囲だけではエリアが少ない。	県北	行政
2	(2)子育て	①保育所	・保育士確保のため、様々な支援を実施しているが、保育所が不足している状況である。	相双	行政
3	(2)子育て	①保育所	・保育士を確保していく中で借り上げ住宅制度は助かっている。現在、借り上げ住宅制度を利用して、県外からの採用活動を行っている。	相双	子育て支援団体
4	(2)子育て	①保育所	・多子世帯、母子家庭から生活困窮等の相談を受けることも多く、待機児童で就労できないという相談もある。	相双	福祉関係団体等
5	(2)子育て	①保育所	・子育て支援において、保育士の確保・質の問題が挙げられる。いくら保育園を作っても保育士の確保が難しい。また、保育士の取り合いになり本当に必要なところに保育士がこないなど悪循環も生まれている。	会津	子育て支援団体
6	(2)子育て	①保育所	・夢を持って保育士になっても心が病んでやめていく保育士が多い。夢を持って出来る職場の環境づくりが重要だと思っている。	会津	子育て支援団体
7	(2)子育て	①保育所	・育児休暇明けに働ける環境が整いつつあるため、保育のニーズが増えている。保育士をもっと確保したい。施設における定着率も悪くない状態である。	県中	子育て支援団体
8	(2)子育て	②放課後児童クラブ	・児童数が多いのに対して、支援する側の人数が不足、手が回らない状態。地域ぐるみの子育て支援の推進として、地域を活用し、放課後児童クラブを増やす支援や高学年の児童の居場所作り、学習支援など具体化して地域ぐるみで行ってほしい。	県南	子育て支援団体
9	(2)子育て	③子育て支援センター	・子育て支援センターの立ち上げを考えているが、保健師が不足、計画が進まず整備を検討している状況。	県南	行政
10	(2)子育て	④その他(支援体制)	・乳幼児や保護者への支援の情報提供が行き届いていない部分があるので、いかに必要な方に支援していくかを考えていきたい。	いわき	行政
11	(2)子育て	④その他(担い手確保)	・子育て支援策をするにしても、人材不足で運営していくことが難しいのが問題。これからは、財政的な支援ではなく、子供に直接関わるような支援に力を入れてやっていく予定。	南会津	行政
12	(2)子育て	④その他(まちづくり)	・街をどのようにつくるかによって計画の方向性も変わる可能性が出てくる。どれだけ寄り添った体制作りをできるかが子育ての問題で大きい。	県北	子育て支援団体
13	(2)子育て	④その他(民間との連携)	・全体的な印象として、保護者への支援が非常に多く、保護者メインで子どもの成長や発達を促すようなサービスや環境整備が不足している。本当に困っている家庭につなぐためにもNPOや民間団体と行政で一体的な活動をして充実させていく必要がある。	県北	行政
14	(3)子どもの権利	子どもの権利	・本県は他県に比べて子どもの権利について遅れている。子どもの権利条約について学校などで学習の機会をお願いしたい。	県中	青少年関係団体
15	(3)子どもの権利	子どもの権利	・子どもを主体に考えた時に子どもの生きやすさ、子どもの権利の視点になることが計画の軸となる。非常にその視点が薄いと感じた。	県南	福祉関係団体等
16	(3)子どもの権利	子どもの権利	・子どもへの支援取組が欠けているとの声があり、人材の育成、権利の擁護を支援できるような地域の仕組みが必要である。	南会津	行政
17	(3)子どもの権利	子どもの人権	・子どもの人権に関する啓発活動(小学生)は非常に大事。企業の啓発活動の中に子どもの人権を取り入れるなど、企業と一緒に子どもの権利を伝える仕組みがあると良いのでは。	県北	子育て支援団体

No.	大項目	小項目	発言内容	地域	発言者
18	(4)子どもの人権	子どもの権利	・子どもの権利条約意見表明権の保証の前提の上で、他自治体では、子どもの意見交換会、パネルディスカッション、子ども会議など子どもの意見を直接行政の施策に活かしていく活動を実施している。そのような視点が必要ではないか。	県中	青少年関係団体
19	(4)子どもの貧困	①一般	・貧困については、表出してくるまでに時間がかかるのため、出来るだけ早く把握できるように民間や行政の連携が課題と思われる。	会津	行政
20	(4)子どもの貧困	①一般	・若者も減り、出生率も減っているので、結婚支援も大事だが、結婚しない理由は出会いがないからではなくお金がないからしないというもの。親は支援の前にお金が必要。次世代を産み育てる環境作りにしても、子育て支援の充実にしても、貧困対策が欠かせない。	県南	福祉関係団体等
21	(4)子どもの貧困	②子ども食堂	・子どもたちの居場所を提供できることが大きな意味を思っている。 ・一時的でも他者との関わりがあることがとても重要だと考えている。	相双	福祉関係団体等
22	(4)子どもの貧困	②子ども食堂	・各主体が繋がりを持って、みんなで運営や取組を行う、それらを行政が応援する形が理想的ではないか。	相双	福祉関係団体等
23	(4)子どもの貧困	②子ども食堂	・フードドライブを意識する機会を増やしてほしい。食品を無駄にせず困窮者にも提供できる。	いわき	福祉関係団体等
24	(4)子どもの貧困	②子ども食堂	・学び・体験を提供する活動を行っているが、子ども達にとって、大人との交流や他学年との交流にもなっている部分がある。	いわき	福祉関係団体等
25	(4)子どもの貧困	③学習支援	・小学校高学年や中学生・高校生への支援が重要だ。勉強が遅れ卒業できない、学歴がないから就職できないとつながってしまう。年齢が上の人達をフォローしないと、手が回らなくなってしまう。	県南	福祉関係団体等
26	(5)困難をかかえる	①障がい児	・教育の充実の中に、インクルーシブ教育の記載がない。特別支援を希望する子どもが増えているが、人材育成が追いついていない。	県南	福祉関係団体等
27	(5)困難をかかえる	①障がい児	・子育ての中で、障害児(未就学児)の受け入れ施設が少ない。規定緩和策や人材不足の解消が必要である。	県南	子育て支援団体
28	(5)困難をかかえる	①障がい児	・障がいのある子どもについては、教育支援計画の作成義務があるが、高校卒業後の就労支援に向けた連携が出来るとうい。また、診断を受けていないグレーゾーンの子どものついて、就労できずひきこもってしまう状況が見られる。そういった方への支援が考えられればよいと思う。	南会津	行政
29	(5)困難をかかえる	②ひとり親	・ひとり親が子どもの就学の問題で生活困窮に係る相談に来ることがあり、就学に関する貸し付け制度など早めに知っていれば良かったケースもある。制度の周知がうまくされていないので、アナウンスの充実を図っていききたい。また、早めの対応をできるような周知のツールを考えていきたい。	会津	福祉関係団体等
30	(6)その他	DV防止	・DV防止についての視点を行動計画に入れてほしい。	県中	福祉関係団体等
31	(6)その他	遊び場	・子供達の遊び場を増やしてほしい。公園の整備を望む声もあれば、ただで遊べるようなところを整備してもらえないかという声もある。冬場雪が多いため、屋内遊び場がほしいとの意見もある。	南会津	行政
32	(6)その他	教育機会の均等	・教育機会確保法が施行されたと思うが、夜間教育やフリースクールなど学校外教育の視点を盛り込んでほしい。	県中	青少年関係団体
33	(6)その他	草の根活動の意見反映	・有識者会議の委員の中で草の根で活動しているような方々も参加しやすいようお願いしたい。	県中	青少年関係団体